



「山梨の野菜も果物も、清らかな水、寒暖差の大きい気候、そして日照時間の長さという自然の恵みによって育まれている。山梨が持っている潜在能力は本当にすごい」



今も、忙しい合間を縫って渓流釣りを楽しんでいる宮沢さん。「日頃から川と身近に接しているからこそ、川を美しく保ちたいと思えるんです」



所で生まれ育ったと強く感じるようになった」といいます。東京で生まれ育ったお子さんたちにもふるさとを感じてほしいと、小学生の頃、夏休みに甲府で過ごさせたことが何度かあるそうです。「父が、かつて僕を連れて行った川に、子どもたちを釣りに連れて行ってくれました。高校生になった今でも『甲府に行きたい』と言ってくれるのは、小学生の頃に山梨の『自然』に触れた体験が良かったのかなと思います」

東日本大震災が起きてから、山梨への思いはますます強くなったそうです。「震災によって、普通のこと、当たり前のことが、どれだけ豊かで幸せなことなのかに気付きました。大自然があつて、清らかな水にあり、おいしい食べ物がたくさんとれる。『それってなんてぜいたくなん

だろう。他に何がいるんだ」というくらい、山梨のことを一層いとおしく感じるようになりました」

**ふるさとの「水」**  
美しい姿で後世に残したい

山梨の「水」には、身近に接してきただけに強い思い入れがあります。「美しい川がたくさんあり、県外の人たちにとっての水源でもあります。そんなふるさとの『水』を誇りに感じます」

今も渓流釣りで山梨の「水」と触れ合う宮沢さん。川はさまざまなことを気付かせてくれるといいます。「人間は川の水がなければ生きていきませんが、川を美しくすることは自分たちを美しくすることと同じだと思えます。ふるさとの清らかな「水」を孫やひ孫の世代に残して



THE BOOM 4枚目のシングル「釣りに行こう」(1990年)は山梨の風景を思い浮かべながら作った曲の一つ。「今でも歌うたびに、自転車で釣りに行っていた子どもの頃を思い出します」

あげることが、僕らの使命だと思っています」

そんな思いから、荒川の自然を守り、荒川と親しむ「未来の荒川をつくる会」の活動に参加したり、ふるさと納税で「山梨県の水を育む森林保全に関する取り組み」を支援するなど、「ふるさとのためにできることがあれば、ぜひ取り組んでいきたい」と積極的に行動しています。「山梨の清らかな『水』をいつまでも美しく保って、県外から多くの人に訪れてもらえる山梨にしたいですね」

**国民文化祭は山梨を知るいい機会**

「アーティストとしての感性は子どもの頃に過ごした山梨で培われた」という宮沢さん。平成25年に山梨で開催される第28回国民文化祭に

**山梨の清らかな「水」で育った子ども時代**

甲府市内を流れる荒川のすぐそばで生まれ育った宮沢さん。「当時の荒川にはまだ自然が残っていて、友達と泳いだり、潜って魚を捕まえたりました」。また、父親の影響を受け、荒川や笛吹川などの上流にヤマメやイワナなどを釣りに、出掛けたそうです。「当時は天然魚がよく釣れて楽しかった。川の中に入って行う渓流釣りは、自然との一体感を

味わえるのが何よりの魅力です」

山梨の豊富で清らかな「水」に存分に親しみながら育ったことがうかがえます。

**山梨を離れ改めて感じるその魅力**

「10代の頃、山梨は都会に比べると何もない印象でしたが、山梨を離れ、年を重ねるごとに、素晴らしい



Profile  
ミュージシャン  
みやざわ かず ふみ  
宮沢和史さん

1966年甲府市生まれ。THE BOOMのボーカリストとして1989年にデビュー。これまでにTHE BOOMとしてアルバムを12枚、ソロアルバムを4枚、バンドGANGA ZUMBA(ガンガ・ズンバ)としてアルバムを2枚リリース。他のアーティストへの楽曲提供も多数。海外でもコンサートツアーを行うなど国際的に活躍する一方、ギターによる弾き語りスタイルの「寄り道」では、普段コンサートツアーで訪れる機会の少ない町を中心に日本全国を回るなど、精力的な活動を行っている。2011年3月2日にシングル「暁月夜〜あかつきづくよ〜」をリリース。現在、全国ツアー「THE BOOM 平成二十三年春夏公演“光”」を行っている。秋にはニューアルバム「よっちゃんばれ」をリリースする。

**やまなしブランド**  
清らかな「水」は山梨の誇り  
ふるさとの川や自然を大切にしたい

緑豊かな山々に囲まれている山梨は、清らかな「水」の宝庫。THE BOOMのボーカリスト、宮沢和史さんは、子どもの頃、そんな山梨の「水」と触れ合いながら育ちました。ふるさとの「水」がいつまでも美しくあり続けられるよう、川や自然を守る活動にも積極的に取り組んでいます。

も、大きな期待を寄せています。宮沢さん自身もTHE BOOMとして、富士の国やまなし国文祭を盛り上げるため、8月に舞鶴城公園で野外コンサートを予定しています。

「山梨への愛情や感謝の気持ちを込めて演奏しますので、お祭りに参加するような感覚で、気軽に楽しんでもらいたいですね。国文祭は、山梨をアピールする良い機会。これを機に、県民が山梨を改めて知り、県外の人と大いに交流して、新たな文化が生まれることを期待しています」

THE BOOM

Information

がんばろう東日本  
THE BOOM 平成二十三年夏まつり  
**よっちゃんばれ**  
富士の国 やまなし国文祭  
500日前記念フリーコンサート

8月27日(土) 舞鶴城公園  
16:00スタート予定  
問い合わせ先: ディスクガレージ  
Tel\_03-5436-9600 (平日12:00~19:00)  
THE BOOM オフィシャルサイト  
http://www.theboom.jp



触れる

南部町 山水徳間の里

山あいの富士川渓谷にあり、川遊びや釣り堀でのヤマメ釣り、魚のつかみ取り、バーベキュー、体験工房など、子どもから大人まで楽しめます。

南巨摩郡南部町富士 18080  
TEL 0556-66-2750



癒やす

甲府市 板敷溪谷

御岳昇仙峡の奥、荒川ダムの上流にある板敷溪谷は、気軽に散策を楽しみながら、大小さまざまな滝を眺めることができる穴場スポット。溪谷入口から15分ほど登ると、落差40メートルの大滝に出会えます。

甲府市上帯那町  
TEL 055-237-5702 (甲府市観光課)



山梨は清らかな「水」のふるさと

千ヶ淵 (せんがぶち/北杜市)

山梨の水を楽しもう

学ぶ



忍野村 富士湧水の里 水族館

富士山の湧き水を使った淡水魚専門の水族館。県内に生息する魚やカメなどの生き物たちが待っています。大きな回遊水槽があり、大小さまざまな魚が泳ぐ姿を、ゆっくり楽しめます。

南都留郡忍野村忍草 3098-1  
TEL 0555-20-5135

遊ぶ



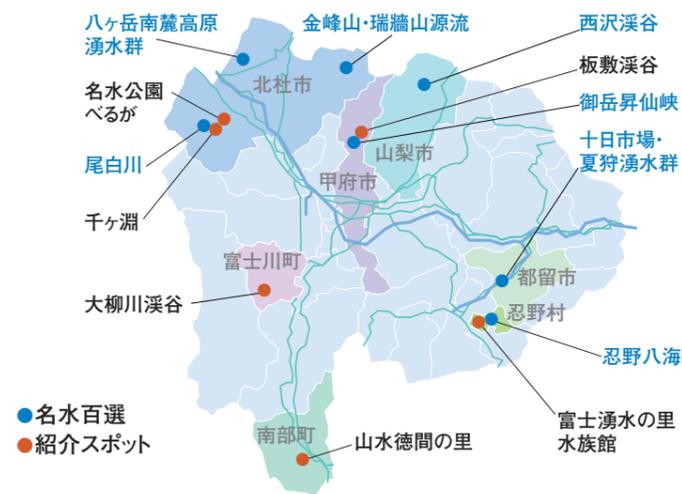
北杜市 名水公園べるが

名水・森・人をテーマに、水や森と触れ合うことができる「発見型自然公園」。約20ヘクタールの広大な敷地内に、湧き水や谷の様子を再現した「水の庭園」や「尾白川堰堤(えんてい)」などさまざまな施設があり、名水を存分に満喫できます。

北杜市白州町白須 8056  
TEL 0551-35-4411



大柳川渓谷 (おおやながわけいこく/富士川町)



山々に囲まれ、県土の約78%を森林が占める山梨は、清らかな水のふるさとです。名水百選には尾白川(北杜市)、八ヶ岳南麓高原湧水群(北杜市)、忍野八海(忍野村)が、平成の名水百選には御岳昇仙峡(甲府市)、金峰山・瑞牆山源流(北杜市)、西沢渓谷(山梨市)、十日市場・夏狩湧水群(都留市)が選ばれています。また、ミネラルウォーターの生産量は日本一です。この豊富で美しい水が、フルーツやワインなど山梨のすぐれものを育んでいます。山梨の名水が織り成す美しい景観やくめども尽きぬ自然の恵みが、心と体を潤してくれます。